



新星

Shinsei

2017 Vol.24

2017年11月13日 発行

医療法人 厚生会 道ノ尾病院「新星」Shinsei 編集部

〒852-8055 長崎市虹が丘町1番1号

TEL 095-856-1111 FAX 095-856-4755

題字：松本 寿美子



CONTENTS

- 2 インフルエンザのおはなし
- 3 「9月1日は防災の日」昼食に非常食を紹介
- 4 行動制限最小化委員会「院内研修」
- 5 「平成29年度福祉合同ガイダンス」を実施
平成29年度精神科看護公開研修会へ参加
- 6 入院について⑦
- 7 病棟紹介⑦／部活動紹介
- 8 敬老会を終えて／秋祭りの報告

基本理念 患者第一主義

基本方針

- 挨拶と笑顔をもって皆様（患者・家族）に接します
- 疾病や治療に対して十分な説明と同意に基づき、患者本位の医療を提供します
- 患者の権利を認識し、尊重します
- 地域における責務を認識し、開かれた病院を目指します
- 職員研修を行い、常に研鑽に努めます
- 健全な病院経営に努めます
- 患者の社会復帰に努めます

インフルエンザ の おはなし

内科医
北村 慎一

みなさん、こんにちは。道ノ尾病院内科に勤務している北村慎一です。日頃は、入院患者さんの全身管理に携わっていますが、この季節になると、気になるのがインフルエンザです。日本では、毎年、国民の10人に1人、1000万人もの人がインフルエンザにかかっています。昨今では、学校、施設、病院での集団発生が頻発しています。どうしても医療に従事する私達は、神経質にならざるを得ない状況ということがおわかりいただけると思います。しかし、ただ恐れ、心配していても予防はできません。「彼を知り己を知れば百戦あやうからず」の格言にあるように、インフルエンザをよく知ることで、大切な体を守りましょう。

1 インフルエンザウイルスの特徴

- ①感染力が非常に強い。
- ②A、B、C型がある。
- ③強い免疫ができにくく、
毎年変異を繰り返すため、
何度も感染する。



2 インフルエンザに感染した時の経過

- ①飛沫（くしゃみ、咳）感染、空気感染
（飛沫核が空気中をただよう）。
- ②潜伏期（感染してから発症するまで）1～3日。
- ③症状は5日程持続（39度前後の高熱、全身の
筋肉痛、咳、痰、食欲低下）。
- ④発症1日前から解熱後3日は他の人にうつす
（この間は学校や仕事を休む必要があります）。

3 治療

- ①湿度50%ほどの部屋でマスクをつけて安静にする。
- ②十分な水分補給、消化のよい栄養のある食べ物。
- ③発症48時間内であれば、抗インフルエンザ薬
（重症化を防ぐ、発熱期間を短縮）。
- ④一般に解熱剤はアセトアミノフェンが
安全（医師に相談する）。



4 感染を予防する

- ①日常における予防には、ウイルスを吸い込まない、
洗い流す、近寄らないが原則。具体的には、手洗い、
うがい、マスクの活用、せきエチケット、人混みを
避ける、むやみに口をさわらない、規則正しい生活
と食事など。
- ②ワクチン接種は有効
（インフルエンザ研究班の検証では、連続7シーズンを
調査し、ワクチン接種群は明らかに発生率が低く、
重症化を防いでいたという結果）。

おわりに、紀元前412年には、既にインフルエンザの流行を思わせる記録があり、人類は常にインフルエンザと戦ってきたことがわかります。どこにいても、いろんな物を瞬時に共有でき、簡単に移動もできる現代では、大流行の危険が毎年取りざたされます。そのような環境に生きる私達は、いかに予防方法を身につけるか、あるいは、一旦発症しても、いかに広がり防ぐか、重症化を防ぐかが、重要です。

インフルエンザの季節、皆さんと二人三脚で、一緒にこの時期を乗り越えましょう

9月1日は防災の日

「昼食に非常食の提供をさせていただきました」



全国で自然災害が続いております。

長崎でも35年前には、長崎大水害が起こっており、また道ノ尾病院は、山に立地しているため、土砂崩れ、停電などが起こる可能性もあるかと思われます。そこで当院では、災害の日の昼食に、病棟のスタッフと協力して、病棟配膳方式で、入院患者さんに上記の非常食を提供致しました。

事前に患者様へ非常食提供の説明を行いました。献立は、災害時を想定し、高齢者まで統一して食べることができるもの、かつ調理工程の必要のないものを選択し組み合わせました。

〈レトルトの粥、とりそぼろの缶詰（今回危険のリスクを考慮して容器に出して提供）、クリミール、ヨーグルト〉
非常時の食事提供の訓練も兼ね、職員食、デイケアの昼食も非常食献立でした。



【職員食堂の様子】

そこで、防災食を食べた職員、デイケアのメンバーさんを対象に下記の内容でアンケートを実施（集計数163名）

1、防災の日のこのような訓練について必要だと思いますか？

①必要 111人（68%） ②どちらともいえない 44人（27%） ③必要ない8人（5%）

2、今回の食事の内容はどうでしたか？

①満足 22人（13%） ②やや満足34人（21%） ③普通50人（31%）

④やや不満38人（23%） ⑤不満 19人（12%）

3、防災の日についてご意見・ご感想をお聞かせください。

（多数のご意見・ご感想の中から抜粋）

*粥の米の割合が少なく物足りない。全体的に量が少ないが、非常食としては上等だと思う。

*初めて食べましたが、思ったより美味しかったこのような食事もたまにしていきたいと思います。

*非常時のことを考えるきっかけになる良い取り組みだと思います。

*はじめてで配膳もばたついたので、今後も訓練が必要であると感じた。缶ではなく、朝食で良く出るアルミの容器？みたいなのがいいのでは？パンなどもあればいいと思う。

初めての非常食提供は、賛否両論のご意見を頂きました。多くの課題を残しましたが、道ノ尾病院全体が、一丸となり、防災意識の向上に少しだけ繋がられたようです。

行動制限最小化委員会

院内研修



平成29年7月7日・14日



年2回開催している研修会ですが、今回は、三和中央病院の認定看護師である内野忠彦さんと原田修治さんをお招きし「行動制限最小化に向けての三和中央病院での変遷」について講話を頂きました。昨年、道ノ尾病院と三和中央病院は、長崎市内でも定床数も患者層も近いことから何かしらヒントを得ることができればという思いもあり行動制限最小化委員会で病院見学に行かせて頂いた事をきっかけに病院間で交流をさせて頂いております。

研修会の内容は実践、委員会の役割や取り組みについての講義でした。

2日間の開催で医師を含む181名の職員が参加をしています。多くの感想が寄せられて、当院の職員が行動制限最小化に対する問題意識の高さ、実践での苦心を改めて感じることができました。



感想に「制限することで心が痛む」という一言が心に響いた。「どうすれば自由にできるか」専門職の知恵とスキルを活かせるようにしたい」というものや「行動制限をしなければならぬ理由について改めて考えた」「解除する目途をつけて開始するという考えが良かった」等々の前向きなものが多く集まりました。



道ノ尾病院では、行動制限委員会の下部組織として行動制限最小化実働部門として同小委員を平成25年2月に発足し約4年間の活動の中で法律マニュアルを整備、年2回研修会の運営、拘束帯の扱い方をマニュアル化し新人研修を含め毎年研修会を行う等の活動をしております。そのなかで、病院スタッフの協力もあり徐々に行動制限最小化が進んでいます。高齢化や治療困難な病気も多く、そのなかであっても患者さんの治療における行動制限最小化に向けて今後も取り組んでいきたいと思っております。

「平成29年度 福祉合同ガイダンス」が開催されました

長崎県立鶴南特別支援学校では、在学生の卒業後の進路選択の幅を広げたいという声をもとに長崎県内の福祉サービス事業所が集まり、各事業所の福祉サービスの内容を紹介する合同ガイダンスが行われました。鶴南特別支援学校の生徒以外にも長崎市、長与町、時津町の児童・生徒及び保護者や職員の方々に参加され、各事業所の説明を熱心に聞かれていました。宿泊型自立訓練事業所「ふれあい」と就労支援事業所「かいこう」も参加させていただき、事業内容をご紹介させていただきました。

近年、特別支援学校からの実習先を選んでいただくことも多く、卒業生も両事業所を利用されていることから卒業後の具体的な質問や実習の検討がなされました。

今後も10月にかいこうへ特別支援学校の実習生が参りますので、みなさまからの温かいお声掛けがいただけると実習生の方の緊張もほぐれるかと思えます。



平成29年度 精神科看護公開研修会へ参加

病棟師長 和田 仁志
" 角田 昭一

期間：平成29年9月6日～平成29年9月7日

場所：長崎県精神医療センター

内容：2日間で8項目に分けられたプログラム

- | | |
|--|---|
| <p>1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神保健福祉法について ・精神科薬物療法を支える看護について | <ul style="list-style-type: none"> ・疾患理解と看護について ・家族看護について |
| <p>2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神科における退院支援について ・看護倫理グループワーク | <ul style="list-style-type: none"> ・精神科身体合併症について ・看護管理（組織、人材育成） |

研修会内容

○ 薬剤	作用・副作用のメカニズム 再発で脳の萎縮を起こし臨界期におけるアプローチの重要性
○ 退院支援	患者・家族各々の価値観を中心にケアチーム医療の必要性
○ 病棟運営	意見の共有を探し優先順位をつける スタッフの感受性の高まりが良い環境づくりに繋がる

感想として

退院支援の講義で、看護師は観察とアセスメントにより問題点を見抜く力を看護教育課程で身につけているが、「ストレングス(強み)」を探すのは苦手かもしれないという言葉が印象に残りました。

これからの精神医療は患者様の「ストレングス(強み)」に目を向け可能性を伸ばしていかなければならないと痛感し実務に反映させていきたいと思いました。

入院について

連載7回目



後期高齢者（75歳以上の人、65歳以上74歳未満で一定の障がいがある人）医療制度で、平成29年8月1日から医療費の自己負担限度額が変更となっています。

自己負担限度額（月額） 世帯状況等により月ごとの医療費の自己負担額が次の通り定められています

所得区分	自己負担限度額		標準負担額
	外来 (個人ごと)	外来+入院 (世帯合算)	入院時の食事代 (1食あたり)
現役並み (3割)	57,600円	80,100円 医療費が267,000円を超えた場合は、 (医療費-267,000円)×1%を加算 多数回該当の場合 44,400円	360円
一般 (1割)	14,000円 (年間の上限額144,000円)	57,600円 多数回該当の場合44,400円	
低所得Ⅱ (1割)	8,000円	24,600円	90日までの入院 210円 (90日を超える入院がある場合、申請によって160円)
低所得Ⅰ (1割)	8,000円	15,000円	100円

【所得区分について】

- 現役並み・・・一部負担金の割合が3割の方
- 一般・・・「現役並み所得者」「低所得Ⅱ」「低所得Ⅰ」以外の方
- 低所得Ⅱ・・・世帯全員が住民税非課税の方
- 低所得Ⅰ・・・世帯全員が住民税非課税の方で、かつ世帯全員の所得が0円の方
 - ①年金収入のみの方は年金収入が80万円以下の方
 - ②年金と他の収入がある方は
 $(\text{年金収入}-80\text{万円}) + (\text{年金以外の収入}-\text{必要経費}) = 0\text{円}$
 →年金収入が80万円未満の時は0円として計算します



部署紹介コーナー

部署の特徴

女性の回復期治療病棟。統合失調症等様々な疾患の患者が入院されており「接遇に関する意識の向上を図る」を病棟目標とし“やさしさ”“おもいやり”を持って患者様に接するように心掛けています。



○スタッフの資格

SST初級認定、介護福祉士、介護支援専門員、茶道、小型船舶、簿記1級、内視鏡検査技師、アロマテラピーアドバイザー、アロマテラピーハンドセラピスト、アロマブレンドデザイナー、メディカルハーブコーディネーター、関係コンディショニングプラクティショナー、自動車(普通・大型)、中型二輪

○スタッフの趣味

食べ歩き、寝ること、旅行、ピアノ、ガーデニング、映画鑑賞、釣り、ウォーキング、スポーツ観戦、パチンコ、韓流ドラマ、ストレッチ、バレーボール

スタッフ紹介

看護師長：1名 看護主任：2名
看護スタッフ：19名 介護福祉士：2名
看護助手：4名 作業療法士(兼務)：1名
精神保健福祉士(兼務)：2名
病床：60床 1日平均患者数：60名(8月末)
平均在院日数：619.4日(8月末)

○部署の研究・業績

- 平成27年 「危険動作があり拘束解除に踏み切れない患者との関わり」 (看護師 松下智夏)
平成28年 「精神科看護における言葉遣いの大切さを感じて」～意識調査を行って今後の課題を考える～ (看護師 内間留美)
平成29年 「異食の為行動制限がある患者の看護」～イレウスを繰り返す患者への援助を通して～ (看護師 田川美穂)

部活動紹介

書道部

今回は、書道部の活動を取材させていただきました。

現在、道ノ尾病院書道部には約20名の職員が所属しており、毛筆(漢字、かな、小字、条幅)やボールペン字などの書道活動を行っています。活動は月に3回(水曜日)2時間程行われ、昇段・昇級試験に向けて練習をされています。

活動の様子を見学させていただくと、大変和やかな雰囲気、講師の先生から筆の運びや字のバランスなどのご指導を受けながら、皆様ご自身のペースで書き進めておられました。部員の方々からお話を伺うと、「書くことがストレス発散になっています。」といった声が上がっていました。

ほのかに墨の匂いが漂い、和やかな中にも心地よい緊張感のある素敵な空間でした。



活動中にもかかわらず快く取材を受けてくださいました書道部の皆様、本当にありがとうございました!



祝敬老の日

敬老会を終えて

9月15日(金) 敬老会をみちのおホールにて開催しました。

70歳以上の方は387名。

最高齢者は男性94歳、女性104歳。

毎年恒例の当院託児所の子供達によるお遊戯に始まり、理事
長先生によるカラオケや患者様の民踊、各病棟からの演芸など、
笑いあり感動ありの一日でした。今後も皆様に楽しんで頂ける
レクリエーション活動を企画していきたいと思ひます。

平成29年度レク療法委員会



秋祭り



天候不良による延期を経て、10月27日(金)に道ノ尾病院秋祭りが開催されました。当日は天気に恵まれ、雲一つない青空でした。売店には大行列ができ、ステージではデイケア民踊部による民踊や保育室の園児たちによるお菓子取り競争が催され、大変賑わっておりました。また、午後の部の仮装大会では、各病棟から楽しい出し物が披露され、大きな笑いに包まれました。最優秀賞は、B-4病棟「龍踊り」でした。

平日の開催となりましたが、多くのご家族の方、地域の方に足を運んでいただきました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。



医療法人厚生会 道ノ尾病院

- みちのおメンタルクリニック
- 就労支援事業所 ワークステーション かいこう
- 宿泊型自立訓練事業所 ふれあい
- 訪問看護ステーション すみ香
- ヘルパーステーション にじいろ
- 相談支援事業所 にじいろ
- 居宅介護支援事業所 にじいろ
- サービス付き高齢者向け住宅 れいんぼうハウス滑石

社会福祉法人新生会

- 特別養護老人ホーム 望星荘
- 障害者支援施設 虹が丘学園

【医療法人厚生会 道ノ尾病院ホームページ】

<http://www.michinoo.or.jp>

道ノ尾病院

検索



モバイルの方



スマートフォンの方

